

議会運営委員会議事録

日時 令和7年10月6日（月）10：00～

場所 第1・2委員会室

委員名 委員長 斎藤俊夫 副委員長 大和晴美 委員 遠藤龍之 委員 丸子直樹
 委員 渡邊千恵美 (口議長 菊地康彦 副議長 伊藤貞悦)
欠席なし

次 第

1 開会宣言【委員長】

2 報告並びに連絡

10月 7日（火）10時～ 全員協議会（定例会検証）

10日（金）14時～ 宜理名取市町議会連絡協議会議員研修会

(12：50時出発)

14日（火）10時30分～ 加美町議会・大和町議会行政視察 (9時出発)

15日（水）10時～ 全員協議会（町側）

3 協議事項

（1）令和7年第3回山元町議会定例会の検証について

① 傍聴アンケートについて

【資料①】

（なし）

② 議員提出の検証について

【資料②】

【委員長】まず議員提出分に対して意見ありますか。

【副委員】丸子委員の改善点、説明してほしい。

【丸子委員】LINE、インフォカナルは町の情報提供。配付PCにはチームスがインストールされているが、個人所有のスマホにもインストールしておくと、情報発信及び議員間共有が図られる。個人間でも委員会単位でも可能。可搬性も優位なので事務局からの連絡もダイレクトに受け取ることができる。事務局に依頼すると楽です。

【渡邊委員】パソコンと同期ができるということか。

【丸子委員】サイドブックスは開かなければいけないが、チームスではダイレクトにやり取りできる。

【事務局長】先進自治体ではスケジュール管理もツールの活用を図っている。議会側の全員協議会の際に事務局主導で研修を行うこともいい。柴田町なのでは詳しい議員の方が議員を指導し先導している。

【委員長】問題提起ということで、議長と事務局で今後の対応をされたい。

【委員長】ほかになければ、事務局長提案の分に議員提案の内容も含まれているので、事務局長から説明ください。

【事務局長】 1 一般質問通告書等の受付、本会議での発言は議員に責任が伴うもの。現状は事務局長に議員が提出して、内容の確認を行っている。今回たまたま最終日に多くの方が重なったため、効率化を図るため、班長中心に事実確認、表現、誤字脱字の確認。次に事務局長が担当課との一定の調整等を行うことに変更したい。

2 不穏当・不規則発言。昨年の新地町議会との研修会の中で発言の留意点が示された。研修から1年を経過し、各議員での検証を願いたい。

3 単なる内訳を確認して終わる質問等。2の研修会の中で示されたものです。こちらもそれぞれの立場での検証いただければと思います。

4 カスハラ、先の議運で議長と局長でということになった。連絡を取っているが、自宅の電話番号ということもあり、連絡が取れていない状況。

【委員長】 1は予約をして対応で不用ではないか。

【事務局長】 事実確認は執行部との円滑な確認のため。事務局の勉強を含めて精度の高い受付を目指したい。

【渡邊委員】 当日ギリギリまでというのではなく、提出の心がけで賛成です。

【副委員長】 予約期間は1週間前からでいいか。

【事務局長】 もっと前からでもいい。提出される方によって、自信をもって出される方、不安がある方もいる。

【副議長】 締切日、ほかの市町村は発言を抽選にしているところがある。最終日にやりたいので混む面もあるのではないか。

【事務局長】 定かではないがそこまで進んではいない。

【委員長】 2、批判と誹謗中傷は違うと議員必携にもある。

【丸子委員】 放送も行われており傍聴者がいることもかんがえて。

(2) その他

4 その他

5 閉会宣告 【委員長】

(閉会 10:38)